



## 華やかに志免南小学校吹奏楽部春コン♪

ふれあいの部屋と一緒に参加させていただきました。

年度初めは少ない部員数での開催に心配もありましたが、そんな心配を感じさせないとても素晴らしい演奏と素敵なかわいいダンスで、ふれあいの皆さんの体も自然とリズムに乗っていました。

秋尾さんのドラムもパワフルで聴きこたえのある演奏で、ひとときわ大きな拍手が贈られました。心が温かくなるコンサートをありがとうございました。



紙面でご紹介しきれないくわしい内容  
見逃せない話題がまだまだ!  
WEB版柚レターへどうぞ!

柚の木福祉会 Instagram  
フォローしてね

2024年度決算

おかげさまで2024年度事業を無事終えることができました。心よりお礼申し上げます。事業報告及び決算状況はホームページでご覧いただけます。または柚の木福祉会事務所にて財務諸表の閲覧も可能となっております。

## しあわせのイエローレシートキャンペーン贈呈式

じぶんの買い物でだれかを幸せにするしくみイオンの幸せの黄色いレシートキャンペーン。これはお買い物のときに受け取った黄色いレシートを応援する団体の専用BOXに投函すると、レシート合計金額の1%にあたる品物が応援する団体に寄付される取り組みです。

柚の木福祉会は71,200円ものご寄付をいただきました。地域の皆様に応援していただけていることを改めて実感しました。

ご支援ありがとうございます! 利用者様の就労支援のために大切に使わせていただきます。

## 地元企業「イーエム九州様」に今年も応援いただきました!

須恵町に本社をおき、大型自動車の修理等を行っておられるイーエム九州様から須恵町の2事業所が寄付をいただきました!

YUZUKAはお菓子のショーケースと長袖の白いユニフォームです。冷菓の人気が高まる中、ライфтキでお菓子の美味しさがより引き立ちます。ユニフォームはファスナータイプの長袖で、衛生面がより万全になりました!

あゆみのもり須恵はトランボリンとハンドベル、トランボリンは順番待ちになるほど大人気です!! エアロバイクに統いて、運動器具が充実して室内運動もバッチりです♪ しっかり身体づくりに励みます。ハンドベルはさっそく練習をスタート! 「きらきら星」の演奏を訪問してくださったイーエム九州様に聴いていただきました。

新しいハンドベルに気分上々、音色に厚みが増し、楽しい時間を過ごせています。

いつもありがとうございます!

## お菓子の販路拡大研究会のメンバーに抜擢!

ヤマト福祉財団主催の育成プロジェクト「お菓子の販路拡大研究会」のメンバーにYUZUKAの永富職員が選ばれました! 社会福祉法人 共生シンフォニーの理事長である中崎ひとみさんを座長とし、全国の応募者の中から選ばれた10名の研究生と2年半の任期で、販路拡大を軸に売り上げを伸ばすことを学んでいきます。

「YUZUKAの収入をあげて、働く利用者様の工賃向上を目指します!」と永富職員。

これからも皆様の応援をよろしくお願ひいたします!!



これからも皆様の応援をよろしくお願ひいたします!!

2024年度決算

柚の木福祉会では関連法規の規約に基づき、利用者様及びご家族の苦情、施設内外の虐待防止、関係のある方の個人情報保護に対し、公平かつ組織的に対応すべく体制を整えております。各解決責任者・受付担当者等は、各施設の掲示物及びホームページでご確認ください。

7/6 SUN 20周年 大感謝祭

元気に毎日営業中!

一日限りのお祭り! おいしいグルメがたくさん! 縁日も開催 (ヨーヨー釣り・ペットボトルボウリングなど)

からあげ・焼き鳥・ポテト・たこやき・カレー・焼きそば・串揚げ・フランクフルト・アイスクリーム・わらび餅などなど

御予約お問い合わせはユザンキュー サキューよ

この夏は2回 毎年完売 夏土用

011-20(9:30)~19:45 時間業

牛タン葱塩 & 鮭かは焼

「丑乃重」2,000円

7月19日(土) 7月31日(木)

各日限定100食! 予約販売 7/10まで

受け取り時間11:30~15:00

ふたつの極上をひと箱につめました!  
ご予約お待ちしております

応援ありがとうございます!!

ボランティアさん 食べるボランティアさん

延べ 18,903人 延べ 695,757人

賛助会加入 ご芳志 いただき物

フクナガヨシユキ様 ウラベヨウコ様 渡辺倫郎様  
イオン九州株式会社様 河原純様 三上様 奥田様 森川様 株式会社イーエム九州様

おゆずり

高齢者のため  
に  
障がい者  
福祉  
のため  
に

ミシル  
色鉛筆

画用紙

アフターニ  
アイロ  
ンビニ

相談

障がい者  
福祉  
(日間)

在  
高  
齢

相  
談

地域

おゆずり

高齢者のため  
に  
障がい者  
福祉  
のため  
に

ミシル  
色鉛筆

画用紙

アフターニ  
アイロ  
ンビニ

相談

障がい者  
福祉  
(夜間)

おゆずり

高齢者のため  
に  
障がい者  
福祉  
のため  
に

ミシル  
色鉛筆

画用紙

アフターニ  
アイロ  
ンビニ

相談

障がい者  
福祉  
(夜間)

おゆずり

高齢者のため  
に  
障がい者  
福祉  
のため  
に

ミシル  
色鉛筆

画用紙

アフターニ  
アイロ  
ンビニ

相談

障がい者  
福祉  
(夜間)

おゆずり

高齢者のため  
に  
障がい者  
福祉  
のため  
に

ミシル  
色鉛筆

画用紙

アフターニ  
アイロ  
ンビニ

相談

障がい者  
福祉  
(夜間)

おゆずり

【振込先】柚の木福祉会を 郵便振替 17460-61436511  
応援する会 銀行振込 福岡銀行 月隈支店 普通324104

「柚の木だより」による福祉発信に  
大切に使わせていただきます。

## 柚の木福祉会の広報誌『柚の木だより』(隔月発行)



見てね! 柚の木だより

令和7年7月 No.382

柚の木だより

編集 社会福祉法人  
柚の木福祉会

おかげさまで25周年

Powerful Kids  
こども発達センター  
4つの支援コンセプト

01 ワンストップ  
ひとつの場所でサポート  
相談・支援計画・発達支援をひとつの場所で行い、利便性と連携を強めます。早期の支援スタートでこどもの成長力を最大限に引き出します。

02 ライフステージ  
18歳までを通してサポート  
乳幼児から学童期のスムーズな移行、思春期から青年期、社会へ出るまでを、一人ひとりの成長に沿って専門スタッフがサポートします。

03 家庭力向上  
ご家族を笑顔満面に!  
乳幼児期は「親子通園スタイル」の発達支援で、専門スタッフがご家族の心配や願いを共有し、寄り添いながらサポートします。

04 地域で生きる  
こどもの生活の場を支援  
幼稚園、保育園、学校を訪問し、こどもの困りの発見と支援について先生と一緒に考え、こどもの安心感と成長力を高めます。

## 脱! ワンオペ こども真ん中 チーム子育て



2001年「親子通園&訪問」  
セット事業をスタート。こどもの発達支援、園・学校への訪問は2012年の厚生労働省による法律化に先駆けて実施しています。

2025年テーマ

## 福祉の美意識

誰もが安心して生活できる住みよい社会を作る

✓ 柚の木福祉会は福祉の美意識を  
このように考えています

前例のない課題に答えを出していく  
福祉の文脈では収まりきらない活動をする  
社会に必要だと思うモノ・価値を創る

誰一人取り残さない

SUSTAINABLE GOALS  
17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD

誰もが安心して生活できる住みよい社会を作る

発達支援・訪問スタッフ募集!!  
こどもたちがやりたいこと、好きなこと、興味を持っていることをプログラムに取り入れ、楽しい活動の中で発達を支援します。また、こどもたちが通っている幼稚園・保育園、学校を訪問して、一人ひとりに合った環境や関わり方にについて先生と一緒に考え、工夫していきます。

こどもたちの「楽しい!」「好き!」「できた!」を引き出し、ご家族の子育てをサポートする価値あるお仕事です。こどもの笑顔と一緒に創っていきましょう! あなたのご応募を待っています!

Powerful Kids こども発達センター

【問合先】採用担当 素瀬(やなせ)092-931-8022

QRコード

## パワフルキッズの発達支援とは?

パワフルキッズ(以下PK)では1~6歳の就学前のお子さんを対象に発達支援を行っています。私たちは楽しい遊びの中での成長を大切にしています。お子さんが成長していくためには、お子さん自身が「楽しい!やりたい!」と思うことが一番です。そんな楽しい遊びの中で得意なことを伸ばして苦手なことを「できた!」に変える。それがパワフルキッズの発達支援です。



### 個別支援

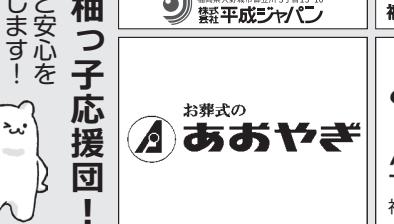
こども・ご家族・専門スタッフ 3者が100%向き合える空間



### ご家族同士の交流で共感・安心 ほっとタイム

グループで発達支援を受けるご家族同士が自然に出会える空間・時間です。

安心して話せる環境なので、子どもの特性や、家庭で困っていることなどについて、相手の話を聞くことも、自分の話を聴いてもらうこともでき、リラックスできます。こどもとの関わり方のヒントを交換することもあり、大人にとって、大切な時間になっています。



## パワフルキッズは「親子通園」スタイル

発達支援にご家族も参加していただく親子通園をお願いしています。専門スタッフと一緒にお子さんの様子を見て、お子さんに合った声かけ・支援・環境づくりと一緒にしていきます。専門スタッフとご家族のチーム力がお子さんの育つ力を引き出します。



### 海くんママのメッセージ

保育園の年中のとき、先生のすすめで発達検査を受け、パワフルキッズの発達支援を受けることにしました。先生のお話を自分が聴いて理解して自分で行動するということがむずかしくなっている頃でした。

親子で週に1回通い、発達支援を受けました。その中でこどもはできることが増えていきますが、私自身もこどもの得意や苦手を理解していきました。苦手なことは、本人がやりやすくなる方法や声かけの工夫を支援の中で見ることができたので、家でも同じようにやってみました。同じような心配のあるお母さんと会えて、話ができたのもよかったです。

### 海くん真ん中

親子通園にこだわる理由があります。発達支援中、ご家族はさまざまな場面(うまくいった面・崩れてしまった面)に会うので、お子さんが「できること」「苦手なこと」を専門スタッフと共有できます。スタッフの支援を実際に見て、「家でもやってみてうまくいった!」という声もよくあります。逆にご家庭での工夫をスタッフが教えてもらうこともあります。PKのモットーは「ご家庭でできない発達支援はしない」です。



週に1回、2時間集中して親子が向き合う時間を創ることができます。お子さんと一緒に頑張った体験はお子さんにもご家族にもかけがえのない、将来に影響のある体験です。PKには「託児」があるので、預けたお子さんも一緒にいます。

ご家族が発達支援を実際に見ることで、家庭内では気づきにくいことに気づくチャンスになります。例えば「学校で使う物の名前がわかる」「立って着替えられるようになる」など。

ほかにも、困ったことが生じた場面。おとなはすぐに手を差し伸べたり、教えてやりしがちですが、お子さんにとっては、「困っているよ」と自分で伝えないまま手助けしてもらえる体験・記憶になります。

一日の多くの時間を過ごす園や学校で、お子さんが先生に「困った」を自ら伝えで解消していくように、見守る時間も成長の後押しになることを周囲のおとながお子さんを通して学んでいきます。

## パワフルキッズのペアレントサポート

### コミュニケーションアプリ HUG

スタッフがお子さんの様子や支援内容を記録。スマホで読んだり、スタッフにコメントしたりもできます。

### ご家族とスタッフと一緒に作ります サポートブック

サポートブックの目的は自分の子どもに関わる人に「こんな子です」と知ってもらうことです。得意なことや苦手なこと、「こうすることができます」というサポート方法を書いています。小学校にあがるときに先生にお子さんを知ってもらうものとしても有効です。

## 保育所等訪問 ほっ! You

パワフルキッズでの発達支援にプラスして、一日の多くの時間を過ごす幼稚園・保育園、学校でのお子さんの様子を、発達支援の専門スタッフが見て、必要な支援を見つけていきます。また園や学校の先生と情報を共有しながらお子さんの困りを和らげ、解決できるように検討・実行していきます。



### 空くん真ん中

小学校入学のときは不安でした。支援級がまず未知の世界。交流級との行き来ができるかどうかも不安でした。

入学式では、1年生の列に空の姿はなく、探しに行くと別の場所で砂いじりをしているというスタートになりました。

その後も、学校から電話があり、運動会の練習に参加できないなど、いくつもの困ったことを聞くことが続きました。「なんでできないの! ?」幼稚園でできるようになったことがゼロになったような、振り出しに戻ったような気持ちでした。そんなとき、夫の「PKか、ほっ! Youに連絡してみる?」の一言がきっかけで状況が変わりました。

発達に専門の方々が集結・連携して空の支援を考えてくれて一つひとつ、心配事が解消していきました。学校に様子を見に行ったり、担任の先生とお話をしたり、私も成長。「なんとかなる! ?」と心も強くなりました。

園・学校生活を快適にし、楽しい時間を増やすためにも、先生とほっ! Youがタッグを組めることがポイントです。

週1回通うだけ、グループ支援で変わるのが心配でしたが、着席できなかった空が座れるようになり、時間も伸びていきました。幼稚園の先生からも「集中力が伸びて製作に取り組めるようになっていますよ」などのうれしいお知らせも増えています。PKの授業スタイルの環境もよかったです。

PKもほっ! Youも頼っていいところ。なにかあれば話してみてほしいです。スッキリして安心してほしいです。

私たちに。

## 園の先生方とチームになって

児さんたちの中に生活のしらさを抱えたままのお子さんがいます。ご家庭の中で1対1で過ごしていると、なかなかお子さんの困り感に気づきにくいこともあります。ご家族にわからなくても、お子さんが困っていることもあります。あるので、早く気づき、相談し、発達支援につながることを願いながら、ご家族に丁寧に接することを心がけています。

いろんな場面、いろんな目線でお子さんを見るとはとても大切で、困り感を抱えたお子さんが発達支援につながれば、ご家族も「この子は困っているんだ」と気づくチャンスになります。気づくことで、周囲が連携してお子さんをサポートしていくます。

ほんとうに困っているのは「お子さん」。お子さんとご家族に寄り添いながら、PKやほっ! Youなど、周囲のバックアップと協力体制でお子さんの育ちを支えていきたいと思っています。



教室の前で。園でのお子さんの様子を教えてくれるS先生。一人ひとりの個性を大事にしています

支援の必要なお子さんたちは発達支援を受けて言葉が増えたり、集中力が上がったり、コミュニケーションが取れるようになります。私たちも、ほっ! Youの先生のアドバイスで気づくことがあったり、一人ひとりに合った支援方法を知ったり、見つけることができるようになります。それは日々の保育の場面でも活かせています。例えば、運動会の組体操の練習で、その子に合った個別のプログラムやサポート体制をつくり、参加できるように支援しました。「できた!」という体験をしてほしいからです。こどもたちの成長していく姿や笑顔がほんとうにうれしく、やりがいです。

25th Anniversary

25th Anniversary  
環境設定定義でPKの発達支援を日ごとに体感的免いたるだけます(要設予約) \*イントボリーウィルヘルムはこぢらです

